

介護離職に関する意識等調査 調査票記入のお願い (家族介護者用)

調査の目的とご協力のお願い

総務省行政評価局では、国、地方公共団体等が行っている仕事と介護の両立を支援する政策の改善を図るため、平成 28 年 12 月から「介護施策に関する行政評価・監視」という調査を実施しています。

この調査では、介護をされている方々が、特にどのようなことを負担に感じているか、どのような支援を必要としているかなどを把握したいと考えており、介護をされているみなさまに別紙調査票へのご記入をお願いするものです。

ご記入いただいた調査票は、調査目的以外には一切使用しません。記名の必要もございませんので、率直なご意見・ご要望をお聞かせください。

この調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- ◆ 調査票は、可能な限り、次に該当する方が記入してください。
 - ① 家族の介護のために離職した人
 - ② ①の人がいない場合、仕事をしながら介護している人
 - ③ ①、②の人がいない場合、主に介護している人
- ◆ 調査票は、回答日現在でお答えください。
- ◆ 回答は、選択肢のある質問には、該当する選択肢の番号に○をつけてください。また、「その他」を選んだ場合等の（ ）は、可能な範囲で記入してください。
- ◆ 同封の封筒（切手は不要です。）に入れて平成 29 年 2 月 27 日までに郵便ポストに投かんしてください。
- ◆ 総務省行政評価局の業務については、総務省ウェブサイトもご参照ください。
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/hyouka/gyouseihyouka/index.html

【お問い合わせ先】

総務省 行政評価局 厚生労働等担当室

担当：中山、阿知良、西村

電話：03-5253-5453（直通）

03-5253-5111（代表）（内線：5453）

この調査で使用する言葉の解説

要介護者	要介護認定を受けた者 (この調査では、要支援の認定を受けた者も含まれます。)
介護離職	家族などを介護するために仕事を辞めること。勤め先を退職する場合だけでなく、自営業を辞める場合も含まれます。 (この調査では、家族などの介護をするために転職することも含みます。)
地域包括支援センター	市町村が設置主体となり、高齢者やその家族等から、介護保険その他の保健福祉サービスに関する各種相談を幅広く受け付け、地域における適切なサービスや制度の利用につなげるなどの支援を実施している機関
介護休業	労働者が、要介護状態になっている家族 1 人につき、3 回（平成 28 年 12 月までは 1 回）の休業をすることができる制度（一定の範囲の期間雇用者も対象） 家族 1 人につき合計 93 日まで休業することができる。
介護休暇	要介護者の介護その他の世話をを行う労働者（日々雇用される者を除く）が、1 年に 5 日（対象家族が 2 人以上の場合は 10 日）まで、介護その他の世話をを行うための休暇の取得ができる制度
介護休業給付制度	雇用保険の一般被保険者が、介護休業をした場合に、一定の要件を満たすと介護休業給付の支給を受けることができる制度
高額介護サービス費支給制度	1 ヶ月に支払った、介護保険サービスの利用者が負担する金額の合計（家賃や食費などを除く）が負担の上限を超えたときは、超えた分が払い戻される制度（一般的な所得の者の負担の上限は 37,200 円）
介護保険負担限度額認定証制度 (特定入所者介護サービス費（補足給付))	特別養護老人ホーム等（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）やショートステイを利用する低所得者の食費・部屋代の負担軽減を行う制度

あなたの現在の仕事の状況など

1. 現在の仕事の状況	1. 正規の職員・従業員 2. 契約社員、嘱託社員 3. 派遣社員 4. 会社などの役員 5. パートタイム・アルバイト 6. 自営業 7. 現在は仕事をしていない → 仕事の経験の有無：ア. あり イ. なし 8. その他（ ）
2. 現在の勤め先の従業者数（全体の規模でお答えください。不明な場合はおおよその規模でお答えください。）	1. 5人以下 2. 6人～9人 3. 10人～20人 4. 21人～50人 5. 51人～100人 6. 101人～300人 7. 301人以上 8. わからない
3. 介護をしている期間（通算期間）	1. 3ヵ月未満 2. 3ヵ月～6ヵ月未満 3. 6ヵ月～1年未満 4. 1年～2年未満 5. 2年～3年未満 6. 3年以上
4. 介護休業の利用の有無	1. 取得した → 取得日数（ ）日 2. 取得したことがない
5. 介護休暇の利用の有無	1. 取得した → もっとも多く取得した年の年間取得日数（ ）日 2. 取得したことがない
6. そのほかに勤め先で利用した制度（複数選択可）	1. 所定労働時間の短縮措置（短時間勤務） 2. 時間外労働の制限 3. 勤務時間の繰上げ・繰下げ 4. 深夜業の制限 5. その他（ ） 6. 特になし
7. 離職の状況	1. これまでに離職をしたことがない 2. 家族の介護以外の理由で離職をしたことがある 3. 家族の介護のために介護離職（転職、自営業を辞めた場合を含む）をしたことがある

↓

介護離職をしたことがある人につながります。（介護離職を複数回している場合は、最後の離職の状況について記入してください。）

1. 最後に離職した年	昭和・平成 年	2. 介護離職していた期間（複数回離職している場合は通算期間）	1. 年 ヵ月 2. わからない
3. 介護離職したときの仕事の状況	1. 正規の職員・従業員 2. 契約社員、嘱託社員 3. 派遣社員 4. 会社などの役員 5. パートタイム・アルバイト 6. 自営業 7. その他（ ）		
4. 介護離職したときの仕事の継続希望	1. 続けたかった 2. 続けたくなかった 3. どちらでもない		
5. 介護離職したときの勤め先の従業者数（全体の規模でお答えください。不明な場合はおおよその規模でお答えください。）	1. 5人以下 2. 6人～9人 3. 10人～20人 4. 21人～50人 5. 51人～100人 6. 101人～300人 7. 301人以上 8. わからない		
6. 介護離職したときに利用していた主な介護保険サービスの種類（複数選択可）	1. 施設入居 2. 訪問介護 3. 通所介護 4. 介護保険サービスは利用していない 5. 覚えていない		
7. 介護離職した後の現在の再就職活動の有無	1. はじめから行っていない 2. 行っていたがあきらめた 3. 途中から行っている 4. ずっと行っている 5. 活動後、再就職済		

※ 以下の質問について、あなたのご感想やご意見を可能な範囲でお答えください。

1 仕事と介護の両立についてうかがいます。

問1－(1) あなたは、以下の仕事と介護の両立を支援する制度・サービスなどを知っていますか。また、利用したことがありますか。以下の設問について、お答えください。

- ① 「① 現在」の各欄は、知っている制度・サービスについて、それぞれ当てはまるものに○をつけてください。知らない場合は、「知らない」の欄に○をつけてください。
- ② 「② 介護をはじめる前」の各欄は、制度・サービスごとに、それぞれ当てはまるものに○をつけてください。
- ③ 「③ 介護離職の原因となっている」の欄は、制度、サービスごとに、これらが有効でないことなどにより、介護離職の原因となっていると思うものがあれば、○をつけてください。

仕事と介護の両立を支援する制度・サービスなど	① 現在									② 介護をはじめる前			③ 介護離職の原因となっている
	知らない	知っている	利用したことがない	利用したことがある	両立に当たっての有効性					知っていた	知らなかった	介護をはじめる前に知りたかった	
					有効	ある程度有効	あまり有効ではない	有効でない	わからない				
(勤め先における制度)													
介護休業（93日）	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	1
介護休暇（5日）	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	1
介護休業給付制度	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	1
在宅勤務制度（テレワークなどを含む）	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	1
短時間勤務制度（所定労働時間の短縮措置）	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	1
裁量労働制度（実際の労働時間とは関係なく、定められた時間働いたとみなされる制度）	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	1
フレックスタイム制度（労働者自身が定められた総労働時間の中で始業及び終業時間を決定することができる制度）	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	1
始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	1

仕事と介護の両立を支援する 制度・サービスなど	① 現在										② 介護を はじめる前			③ 介護 離職の原因となっている
	知らない	知っている	利用したことがない	利用したことがある	両立に当たっての有効性					知っていた	知らなかった	介護をはじめた前 知りたかった		
					有効	ある程度有効	あまり有効ではない	有効でない	わからない					
〔介護保険サービス関係〕														
介護保険サービスで利用できるサービス	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	1	
介護保険サービス以外で利用できるサービス	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	1	
高額介護サービス費支給制度	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	1	
介護保険負担限度額認定証制度	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	1	
〔相談窓口関係〕														
介護支援専門員（ケアマネジャー）	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3		
地域包括支援センター	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3		
介護に係る市区町村などの担当部署	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3		
都道府県労働局の相談窓口（総合労働相談コーナー）	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3		
病院の医療ソーシャルワーカー	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3		
介護サービス事業者（ケアマネジャー除く）	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3		
民生委員	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3		
認知症カフェなどの家族介護者の集い	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3		
勤め先の相談窓口	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3		
〔その他〕														
インターネットやGPSを活用した見守り機器など	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3		
インターネットで提供されている「介護サービス情報公表システム」	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3		
インターネットで提供されている「サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム」	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3		
市区町村のホームページの介護情報	1	2	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3		

上記に掲げた事項以外に、仕事と介護の両立を支援する制度・サービスなどで、あなたが、両立に当たって有効性に疑問があるもの、介護をする前に知りたかったもの、介護離職の原因になっていると思うものなどがあれば、記入してください。

問1－(2) あなたは、仕事と介護の両立について、どのように感じていますか。あなたの考えにもっとも当てはまると思うものに○をつけてください。

1. 介護休業等の勤め先における仕事と介護の両立を支援する制度（以下「勤め先の支援制度」という。）と介護保険サービスを活用することで、両立は可能だと思う
2. 勤め先の支援制度と介護保険サービスを活用することで両立はある程度可能だと思う
3. 介護保険サービスに問題があり、両立は困難だと思う
4. 勤め先の支援制度に問題があり、両立は困難だと思う
5. 勤め先の支援制度と介護保険サービスのどちらにも問題があり、両立は困難だと思う
6. わからない

2 勤め先における支援についてうかがいます。

問2-(1) あなたは、勤め先における仕事と介護の両立を支援する制度や取組などが、家族介護者の負担軽減という観点から、十分である（あるいは不十分である）と感じていますか。それぞれ当てはまるものに○をつけてください。

また、「不十分である」又は「やや不十分である」を選択したもののなかで、介護離職の原因となっていると思うものがあれば、○をつけてください。

勤め先における仕事と介護の両立を支援する制度や取組など	家族介護者の負担軽減					いる 介護離職の原因となつて
	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	わからない	
勤め先及び労働者に対する公的機関（国・地方公共団体等）による介護休業等の周知	1	2	3	4	5	1
勤め先における介護休業等への取組	1	2	3	4	5	1
↓具体的な内容についてもお答えください：						
勤め先における両立を支援する制度の整備	1	2	3	4	5	1
勤め先における両立を支援する制度に関する周知	1	2	3	4	5	1
勤め先における介護休業等の利用事例などの紹介	1	2	3	4	5	1
勤め先における両立を支援する制度の利用しやすい雰囲気づくり	1	2	3	4	5	1
介護休業・介護休暇中の代替要員の確保	1	2	3	4	5	1
転勤に関する配慮	1	2	3	4	5	1

上記に掲げた事項以外に、勤め先における仕事と介護の両立を支援する制度や取組などで、あなたが、不十分と思うもの、介護離職の原因となっていると思うものなどがあれば、記入してください。

問 2 - (2) あなたは、仕事と介護の両立に関する悩みを勤め先に相談することについて、どう感じていますか。当てはまるものに○をつけてください。

- 1. 相談することに問題はない
- 2. 相談しにくい



「2. 相談しにくい」と回答した方にうかがいます。その理由について、可能な範囲で結構ですので、具体的に記入してください。

問 2 - (3) あなたは、以下の勤め先における仕事と介護の両立を支援する制度は、企業や事業所の規模や業種を問わず適用される（又は給付対象の労働者に給付される）ことを知っていますか。知っているものすべてに○をつけてください。

- 1. 介護休業
- 2. 介護休暇
- 3. 介護休業給付制度
- 4. 介護のための短時間勤務制度
- 5. 時間外労働の制限
- 6. 深夜業の制限
- 7. 所定外労働の免除（平成 29 年 1 月から）
- 8. 転勤に関する配慮
- 9. 不利益取扱いの禁止
- 10. どれも知らない

問 2 - (4) あなたは、介護休業について、以下のような使い方ができることを知っていますか。知っているものすべてに○をつけてください。

- 1. 介護に関する長期的方針を決めるための期間に使える
- 2. 介護サービスの手配・調整など介護の体制を構築するために使える
- 3. 3回に分けて使える（平成 29 年 1 月から）
- 4. 同居、扶養していない祖父母、兄弟姉妹及び孫の介護に使える（平成 29 年 1 月から）
- 5. どれも知らない

問 2 - (5) 家族介護者の負担軽減、介護離職の防止の観点から、仕事と介護の両立に関する制度・サービスなどについて、意見・要望があれば記入してください。

3 介護保険サービスについてうかがいます。

問3-(1) あなたは、現在の介護保険サービスについて、家族介護者の負担軽減という観点から、十分である（あるいは不十分である）と感じていますか。それぞれ当てはまるものに○をつけてください。

また、「不十分である」又は「やや不十分である」を選択したもののなかで、介護離職の原因となっていると思うものがあれば、○をつけてください。

介護保険サービス	家族介護者の負担軽減					介護離職の原因となっている
	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	わからない	
介護保険サービスの内容、利用方法のわかりやすさ	1	2	3	4	5	1
介護保険サービスの利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1
↓具体的な内容についてもお答えください：						
要介護認定の申請から認定を受けるまでの期間の長さ	1	2	3	4	5	1
要介護認定の申請から介護保険サービスを受けるまでの手続き	1	2	3	4	5	1
介護保険サービスを利用できる日・時間	1	2	3	4	5	1
介護保険サービスに関する相談窓口に関する情報提供	1	2	3	4	5	1
要介護度ごとに定められている在宅サービスの内容・頻度	1	2	3	4	5	1
介護保険サービスの利用料（自己負担分）	1	2	3	4	5	1

上記に掲げた事項以外に、介護保険サービスで、あなたが、不十分と思うもの、介護離職の原因になっていると思うものなどがあれば、記入してください。

問3－(2) あなたは、利用できる介護保険サービスを探すに当たって、不足していると思う情報がありますか。不足していると思うものについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 特別養護老人ホームなど公的な施設の情報
→施設情報が不足していると思う地域（複数選択可）：
ア. 市区町村内 イ. 都道府県内の他市区町村 ウ. 都道府県外
2. 民間が経営する有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の情報
→施設情報が不足していると思う地域（複数選択可）：
ア. 市区町村内 イ. 都道府県内の他市区町村 ウ. 都道府県外
3. 介護保険で利用できる在宅・施設サービスの種類、内容に関する情報
4. 在宅・施設サービスの空き情報
5. 生活パターン別の介護保険サービスの組み合わせ例の情報
6. NPO法人や介護事業者以外の事業者が提供する介護保険外のサービスの情報
7. その他（)

利用できる介護保険サービスを探すに当たって、苦労したこと、改善して欲しいと思うことがあれば、記入してください。

問3－(3) あなたが介護する要介護者の現在のケアプランは、家族介護者の意見を考慮したものになっていると感じていますか。

1. 意見が考慮されていると思う
2. ある程度意見が考慮されていると思う
3. あまり意見が考慮されていないと思う
4. 意見が考慮されていないと思う
5. わからない

これまでの要介護者のケアプランで、家族介護者の意見を考慮している又はしていないと感じる具体的な事例があれば、記入してください。

問3－(4) 家族介護者の負担軽減、介護離職の防止の観点から、介護保険サービスに対して、意見・要望があれば、記入してください。

4 その他の支援などについてうかがいます。

問4－(1) 介護報酬の対象となる介護保険サービスと介護報酬の対象ではない介護保険外サービスをあわせて提供する、いわゆる「混合介護」について、具体的に利用したいサービスの要望やお考えなどがあれば、記入してください。

(参考) 訪問介護の場合の介護保険外サービスの具体的な例

「直接本人の援助」に該当しない場合で、主として家族の利便に供する行為又は家族が行うことが適当であると判断される行為：要介護者以外のものに係る洗濯、調理、買い物、布団干し 等

問4－(2) 介護離職後の再就職又は自営業の再開に関して、不便に思ったこと、改善して欲しいと思ったことなどがあれば、できるだけ具体的に記入してください。

5 国や地方公共団体が行っている介護に関する取組について、家族介護者の負担軽減、介護離職の防止の観点から、ご意見がありましたら、できるだけ具体的に記入してください。

--

最後にあなた（介護者）の現在の家計、健康状況についてうかがいます。

1. 現在の世帯の家計状況について、どのように感じていますか。	<ol style="list-style-type: none">1. 家計にゆとりがある2. 家計にゆとりはないが、それほど心配はない3. 家計にゆとりがなく、多少心配がある4. 家計が苦しく非常に心配である5. わからない6. 答えたくない
2. あなたの健康状況についてどのように感じていますか。	<ol style="list-style-type: none">1. 健康2. どちらかといえば健康3. どちらかといえば不健康4. 不健康5. 答えたくない

ご記入ありがとうございました。

お手数ですが、記入漏れがないか、もう一度ご確認をいただいた上で、同封した返信用封筒（切手は不要です。）に入れて、**平成 29 年 2 月 27 日（月）まで**に郵便ポストに投かんしてくださいませよう、お願いします。